

# 小美玉 市議会 だより

～ 市民の負託に応えうる  
開かれた議論に基づく  
公平公正な議会を目指して～



2018.1.25 第48号



## 第11回 小美玉市子ども議会を開催

(12月26日、本庁舎3階議場にて)  
※ 質問内容等は、2月発行の市報に掲載されます。

### 目次

■ 新年のあいさつ	P2
■ 第4回定例会 議案審議結果	P3
■ 議会人事 (委員会・一部事務組合の構成など)	P4～
■ 常任委員会 Q&A・議案質疑	P6～
■ 一般質問	P8～
■ 視察報告	P14
■ プレゼントクイズ・市民の声ほか	P15
■ 議長通信、次定例会の予定	P16

# 迎春

霞ヶ浦に昇る初日の出（大井戸湖岸公園）撮影：幡谷好文



議長 市村 文男

明けまして、おめでとうございます。平成30年の年頭に当たり、謹んで新年のごあいさつを申し上げます。

さて、昨年を振り返りますと、1月に県内出身力士、稀勢の里が横綱に昇進し、19年ぶりに日本人横綱が誕生しました。また、14歳でプロ入りした将棋の最年少棋士、藤井四段が公式戦29連勝の新記録を達成したこと、早稲田実業の清宮選手のプロ野球入りが決まったことなどが特に明るい話題として記憶に残っております。

天候では、7月の九州北部豪雨の大きな災害、関東では8月1日から21日間連続で降水があり、40年ぶりの記録であったとのことであり、全国各地で異常気象が発生いたしました。

次に、日本政府の今後の経済財政運営でございますが、引き続き、「経済再生なくして財政健全化なし」との考え方を基本とし、「一億総活躍社会の実現に向け、アベノミクス「新・三本の矢」に沿った施策を実施していくもの」とのことです。第1の矢である、「戦後最大の名目GDP 600兆円」に向けては、地方創生、国土強靱化、女性の活躍も含め、あらゆる政策を総



副議長 藤井 敏生

動員することにより、デフレ脱却を確実なものにする。第2の矢である「希望出生率1.8」と第3の矢である「介護離職ゼロ」に向けては、子育て・介護の環境整備等の取り組みを進め、国民一人ひとりの希望の実現を支え、将来不安を払拭し、少子高齢化社会を乗り越えるための潜在成長率を向上させる。としております。

小美玉市でも、「まち・ひと・しごと創生総合戦略」であるダイヤモンドシティブロジェクトとしての取り組みが、人口減少対策や小美玉市全体の経済活動に波及する最重要事業であるうと思っております。

市議会といたしましても、そういった国や市の対策につきましても、最大限協力して参りたいと思っております。そして、市民に信頼される議会運営に努めて参りますので、より一層のご指導ご協力のほど、よろしくお願い申し上げます。

結びになりますが、皆様の、今年一年のご活躍、ご発展を祈念いたしまして、新年のあいさついたします。

## 明けまして おめでとうございます

(議席順)

野村	荒川	市村	戸田	大和田	笹目	関口	大槻	小川	藤井	福島	岩本	長島	谷仲	幡谷	石井	植木	鈴木	鈴木	村田
武勝	一秀	文男	見成	智弘	雄一	輝門	良明	賢治	敏生	ヨヒ	好夫	幸男	和雄	好文	旭	弘子	喜一	俊一	春樹

# 平成 29 年 第 4 回定例会

12月定例会は、11月30日から12月20日までの21日間の会期で開かれ、報告1件、条例改正2件、補正予算7件、そのほか財産取得を含む3件の計13件の審査を行いました。その内11件を全会一致で可決・承認し、請願1件、陳情1件をを継続審査としました。

補正予算は、一般会計と特別会計が計上され、一般会計補正予算は、ふるさと寄附金事業、障害者自立支援事業、医療福祉扶助事業、道路橋梁維持管理費等、4億6,119万6,000円を追加し、総額で245億2,688万8,000円となりました。

また、一般質問が6日から8日の3日間行われ、12議員が質問に立ち、平成30年度の予算編成方針や、第2次総合計画の策定について、教育行政、高齢福祉行政などの各種事業の進捗状況などのほか、今後の市政運営について質問を行いました。

## 審議結果等一覧（全12件）

### 【全会一致の議案等】

No	議案	結果	
<b>■ 報告（1件）</b>			
5	専決処分承認を求めることについて	承認	平成29年度小美玉市一般会計補正予算 衆議院選解散（9/28）に伴う選挙経費2,978万3千円の補正増
<b>■ 条例の改正（1件）</b>			
77	小美玉市自治基本条例の一部を改正する条例について	可決	基本構想の策定及び変更については、議会の議決要件とする規定の追加
86	小美玉市土地の埋立て等の規制に関する条例の一部を改正する条例について		条例適用面積の下限値を撤廃するとともに、埋立て行為に係る公共施設等の破損に対する担保を制度化し、適切な事業活動の促進を図るため規定を追加
<b>■ 平成29年度補正予算（7件）</b>			
78	一般会計補正予算（第3号）		[補正額] 4億6,119万6千円 [補正後額] 245億2,688万8千円
79	国民健康保険特別会計補正予算（第3号）		[補正額] 79万4千円 [補正後額] 68億5,741万3千円
80	後期高齢者医療保険特別会計補正予算（第2号）		[補正額] 43万円 [補正後額] 4億8,639万6千円
81	下水道事業特別会計補正予算（第2号）	可決	項目間の組み替え
82	農業集落排水事業特別会計補正予算（第2号）		[補正額] △521万円 [補正後額] 8億0,461万9千円
83	戸別浄化槽事業特別会計補正予算（第2号）		項目間の組み替え
84	介護保険特別会計補正予算（第2号）		[補正額] 1,057万4千円 [補正後額] 36億9,572万2千円
<b>■ その他（1件）</b>			
85	財産の取得	可決	希望ヶ丘公園（駐車場）整備事業用地として、中台地内の土地7,335平方メートルを取得
<b>■ 請願（1件）</b>			
2	小美玉市空のえき「そ・ら・ら」イベントひろばヘドーム建設に関する請願書	継続	提出者：白根澤勝 紹介議員：岩本好夫
<b>■ 陳情（1件）</b>			
2	太陽光発電施設に関する陳情書	継続	提出者：大石英敏ほか花野井区さくら自治会25名

## ■新たな委員会 構成 決まる！

任期の折り返しとなる平成29年第4回定例会が11月30日に開会され、12月20日の最終日に常任委員会や議会運営委員会の各委員と一部事務組合議会議員が新たに決まりました。

### ■常任委員会

名称	委員長	副委員長	委員	所管部課
総務 (6名)	長島 幸男	村田 春樹	大和田 智弘 小川 賢治 岩本 好夫 植木 弘子	市長公室、企画財政部、総務部、市民生活部、各総合支所、消防本部、会計課、議会事務局、監査委員事務局、他の委員会に属さない事項
文教福祉 (7名)	関口 輝門	鈴木 俊一	荒川 一秀 戸田 見成 藤井 敏生 谷仲 和雄 石井 旭	保健衛生部、福祉部、教育委員会
産業建設 (6名)	幡谷 好文	木村 喜一	野村 武勝 笹目 雄一 大槻 良明 福島 ヤヨヒ	産業経済部、都市建設部、水道局、農業委員会事務局

### ■議会運営委員会

名称	委員長	副委員長	委員
議会運営	笹目 雄一	長島 幸男	荒川 一秀 関口 輝門 大槻 良明 幡谷 好文 (委員外) 副議長 藤井 敏生

### ■特別委員会

名称	委員長	副委員長	委員
広報	大槻 良明	谷仲 和雄	小川 賢治 幡谷 好文 石井 旭 植木 弘子 村田 春樹
百里基地・茨城空港対策	笹目 雄一	藤井 敏生	荒川 一秀 関口 輝門 大槻 良明 長島 幸男 石井 旭 植木 弘子 鈴木 俊一 村田 春樹
地方創生まちづくり	岩本 好夫	幡谷 好文	野村 武勝 荒川 一秀 戸田 見成 大和田 智弘 小川 賢治 福島 ヤヨヒ 谷仲 和雄 木村 喜一

### ■一部事務組合・広域連合

名称	選出議員	加盟市町村	所管
茨城美野里環境	荒川 一秀 木村 喜一 村田 春樹	茨城町、小美玉市 (美野里地区)	ごみ処理
霞台厚生施設	荒川 一秀 戸田 見成 石井 旭 植木 弘子	石岡市、かすみがうら市、茨城町 小美玉市 (小川・玉里地区)	
茨城地方広域環境	野村 武勝 岩本 好夫 幡谷 好文	水戸市、笠間市、茨城町 小美玉市 (美野里地区)	し尿処理
湖北環境衛生	市村 文男 笹目 雄一 鈴木 俊一	土浦市、石岡市、かすみがうら市 小美玉市 (小川・玉里地区)	
湖北水道	大和田智弘 小川 賢治 藤井 敏生 長島 幸男	石岡市、小美玉市 (玉里地区)	水道
石岡地方斎場	関口 輝門 大槻 良明 福島 ヤヨヒ 谷仲 和雄	石岡市、かすみがうら市、小美玉市	斎場
茨城県後期高齢者医療	市村 文男	茨城県内市町村	医療

## ■「地域医療対策特別委員会」目的達成により終了！

地域医療対策特別委員会は、平成28年10月に、総務省の新公立病院改革ガイドラインに基づき、市が新公立病院改革プランを策定するにあたり、小美玉市医療センターが果たすべき役割や機能、並びに市民にとって良質で適切な医療を提供するため最も効率的かつ効果的な病院運営のあり方について、市議会として市に提言を行うための調査・研究を目的に設置した委員会です。

当委員会では、これまで議論を重ね地域医療の視点に立った医療機能の継承、並びに市財政状況を勘案し、救急医療体制の維持など公立病院の機能を担うことを条件に、民設民営の民間移譲を選択すべきとの見解で全会一致により、市執行部へ小美玉市医療センターの存続を第一として公立病院の機能維持を条件とした民間移譲による病院存続及び病院運営を求めていくことを提言しました。

よって、市執行部においては今後も引き続き小美玉市医療センターの経営改革を進めるにあたり鋭意取り組むことを強く要望し、当委員会の調査・研究を終了しました。



◀小美玉市医療センター

## ■「議会改革推進特別委員会」当初の目的達成により終了！

議会改革推進特別委員会は、平成27年第1回定例会での小美玉市議会基本条例制定を受け、併せて、本条例の具現化を目指し、具体的運用に向けての調査・研究を目的とし、議員発議により設置した委員会です。

当委員会では



▲議会報告会の様子

- ・小美玉市議会報告会実施要綱（H27年6月4日）
- ・小美玉市議会議員の政治倫理に関する条例の一部改正（H27年9月18日）
- ・小美玉市議会自由討議実施要綱（H28年3月1日）
- ・小美玉市議会反問権実施要綱（H28年3月1日）
- ・小美玉市議会における災害時の対応に関する要綱（H28年6月2日）
- ・委員会における請願・陳情者の意見陳述実施要綱（H28年6月2日）
- ・小美玉市議会情報の公表及び提供に関する内規（H29年3月2日）
- ・小美玉市議会正副議長立候補所信表明申し合わせ事項（H29年3月2日）

等々、本条例の具体的運用に向けての調査・研究に取り組み、必要とされる要綱等の整備を段階的に進めて参りました。

そして、これらの整備完了に伴い、当初の目的は達成されたことから、当委員会での調査・研究を終了しました。

### ●豆知識

#### ○常任委員会の任期

小美玉市は「委員会条例」第3条で2年と定めている。

#### ○議会運営委員会の任期

常任委員会の任期と同様に2年。

#### ○特別委員会の任期

委員会に付議された事件が議会において審議されている間在任する。  
審査・調査が終了すれば消滅する。（「委員会条例」第6条）

※サウンディング型市場調査とは？・・・市有資産の有効活用策について、事業のポテンシャルを最大限に高められる活用案や実現可能性の高い公募条件を検討するため、事業立案の段階から民間業者との対話を通じ意見交換をすること。

# 委員会 審査 Q & A

## 各委員会に付託された 21 議案等を審査

本会議で付託された12件の議案等について、11日から13日にかけて行った各常任委員会で審査しました。各常任委員会での審査状況について、主な質疑応答の内容をお知らせします。

### 総務

### 総務

(委員) 田島 川口 木田  
大長 荒関 鈴木

#### ■公有財産管理費

**Q** 今回の補正に計上された公有財産管理費の農業会館と分庁舎脇倉庫の解体後の跡地利用は？

**A** 農業会館の跡地は検討中。分庁舎脇倉庫の跡地は、自動車を通れる通路として整備し、防災倉庫の有効活用を図る。



▲総務常任委員会の審議の様子

### 文教福祉

(委員) 本 仲 目 川 谷 木 村  
岩 谷 笹 小 幡 植 木

#### ■子ども環境改善支援事業 (スクールソーシャルワーカー)

**Q** スクールソーシャルワーカーの勤務体制は？

**A** スクールソーシャルワーカーは、3人指導室に勤務している。週3日勤務が1人、週2日勤務が1人、週1日勤務が1人。また、今年度から小川小学校に通級指導教室(言語障害)を新設し、月に1回程度、言語聴覚士を派遣している。

**Q** 教育相談件数がどのくらい増えているのか？

**A** 平成28年度実績で相談実人数516人、相談延べ件数930件。平成29年10月末現在で相談実人数412人、相談延べ件数1018件。



▲文教福祉常任委員会の審議の様子

**Q** どのような教育相談があるのか？

**A** 教育相談内容は、児童生徒の発達障害にかかわるもの、不登校等学習や生活への不適應にかかわるもの、就学・進学にかかわるもの、学校支援にかかわるものなどがある。

**Q** 相談後の対応は？

**A** 相談を受けて、内容によって発達検査の実施や学校との連絡調整、専門的機関との連絡調整、保護者や児童とさらに相談を進める等を行っている。

○ 相談件数も増加しているので、スクールソーシャルワーカーの増員を要望します。

### 産業建設

(委員) 田井村 槻井島  
戸石野 大藤 福

#### ■農地中間管理事業

**Q** 事業の現在までの実績は？

**A** この事業は平成26年度から開始され、平成29年11月末までに645筆、172.2haが農地中間管理機構へ貸付されており、担い手に貸付が行われ契約が成立したものが563筆、155.1haで契約率が87.3%になっている。

#### ■羽鳥駅前市の市有地活用

**Q** サウンディング型市場調査のスケジュールと市の方針は？

**A** 駅前市有地利活用の検討にあたり、民間事業者と対話を通じて市場性を把握する調査であり、1月中旬までに公募を行い、2月中には参加民間事業者と対話を実施したいと考えている。

市では「行政窓口機能」「図書館機能」「多目的スペース機能」を備えた官民複合施設を想定している。



▲産業建設常任委員会の審議の様子

12月定例会の  
議案に対する主な質疑（2件）

●議案第78号

小美玉市一般会計補正予算

（福島議員）

Q 企画費ふるさと寄附金事業費の増額理由と今後の考え方について

A 増額は寄附件数が前年度同時期よりも約3割程度伸びていることによる。

Q 企画費ふるさと寄附金事業費の増額理由と今後の考え方について

A 増額は寄附件数が前年度同時期よりも約3割程度伸びていることによる。

今後は自主財源を確保するとともに、地域の魅力を発信しながら、「寄附されたお金の使いみち」と、「市の施策に役に立っている」ことを広く公表し、本来の趣旨に沿った形で制度を推進していく。地域産業を活性化させるため、市内で生産・製造されたもの、市内外に誇る事が出来るお礼品を厳選し、品目数を増やしていく。

Q 防災諸費、防災行政無線事務費、工事請負費の増額理由と今後の措置、在り方について

A 防災行政無線のデジタル化に伴い、12月にアナログ電波の停止をするため旧式の戸別受信機が使用できないことを周知した。Jアラートの

発令があったことなど、確実な行政情報の入手を目的として申し込みが増えているため、60台分の新規設置を見込んだ。

転入された方に、設置についてお知らせを行い、転出される方にも返還をお願いしている。

12月定例会日程	
日程	会議等の主な内容 傍聴
3011月	本会議（開会、議案上程） 2名
12月	本会議（一般質問） 9名
6日	本会議（一般質問） 16名
7日	本会議（一般質問） 4名
8日	本会議（一般質問、質疑、討論、委員会付託） 1名
11日	広報特別委員会 2名
12日	総務常任委員会 1名
13日	文教福祉常任委員会 1名
15日	産業建設常任委員会 1名
19日	地域医療対策特別委員会 百里基地・茨城空港対策特別委員会 議会改革推進特別委員会 地域創生まちづくり特別委員会 1名
20日	議会運営委員会 全員協議会 本会議（討論、採決、閉会） 1名

# 市民の声を市政に

## 一般質問とは

皆さんの生活にかかわる大切な内容について、市議会議員が市に対して質問を行います。今回の一般質問であなたの生活にかかわる内容はありますか？



質問議員 12名 質問 36項目

- |               |               |
|---------------|---------------|
| ◇木村 喜一（8ページ）  | ◇長島 幸男（8ページ）  |
| ◇石井 旭（9ページ）   | ◇戸田 見成（9ページ）  |
| ◇福島ヤヨヒ（10ページ） | ◇谷仲 和雄（10ページ） |
| ◇村田 春樹（11ページ） | ◇藤井 敏生（11ページ） |
| ◇植木 弘子（12ページ） | ◇鈴木 俊一（12ページ） |
| ◇幡谷 好文（13ページ） | ◇小川 賢治（13ページ） |

▲ 本庁舎の1階ロビーと3階の議場前、各総合支所の1階ロビーにTVモニターを設置しています。

※ 会議録（一般質問の詳細など）は、市議会のホームページから簡単に閲覧・検索できます。なお、今定例会の会議録の公開は3月頃の予定です。

移動型シェルター配備により危機管理対応を

実践的な避難訓練や避難施設の取り組みが進む



木村 喜一

**Q** Jアラート発動時における児童の行動。

着弾を想定した訓練や防災用品の配布状況は。地域を見守る体制は構築されているか。

**A** 教育部長 文科省や県からの通知及びガイドラインをもとに市教育委員会より各学校へ対応を指示している。すべての小・中学校で、児童・生徒への指導及び訓練、保護者や地域への協力依頼している。

市内16小・中学校のうち、1小学校が防災頭巾を常備しているが、それ以外の学校は、児童・生徒一人一人に行き渡る防災用品は特に備えていない。

**A 危機管理監** シェルターなど避難施設の補助事業等の創設、または既存事業での補助対象施設となった際には、設置に向け検討している。

**Q** 急激に増え続ける空き家対策として民間の各種専門団体との早急なる協定の締結を望む。

**A** 市民生活部長 空き家バンクの設置に向けて、空き家等の媒介に係る協定の締結が必要と認識しており、茨城県宅地建物取引業協会や媒介業者などを想定し、また相続、財産等に関する助言に係る協定として、茨城司法書士会などとの連携も想定している。

また、小美玉市空家等対策協議会では、建築士、土地家屋調査士、不動産鑑定士などの学識経験者の方々を委員としている。

**【そのほかの質問】**  
**○** 土砂埋立てに関する規制の状況と現場の状況。土砂持ち込みの保証金制度の導入について

市営霊園内に合葬式墓地の整備計画は

利用者の要望等を踏まえニーズに応えられるよう検討したい



長島 幸男

**Q** 少子高齢化に伴う墓地の需要増加に備えるとともに、子や孫世代など後継世代の負担軽減や無縁化・維持管理を不安視する利用者のニーズに応えるため合葬墓地の整備計画について伺う。

**A** 市民生活部長 合葬式墓地とは亡くなられた方の遺骨を共同で埋葬するお墓で、お墓を管理する承継者がいない方々を中心に近年ニーズが高まっている。近隣市町村では、大洗町で合葬墓地を整備し運営しており数多く相談が寄せられている。現在小川の天聖寺に無縁仏を納骨しているが容量が限界に来ている現状であり本市としても利用者の要望等を踏まえ、先進地の事例を研究しながら今後検討していく。

**Q** 軽度の要介護者向けサービスに関して県内の市町が「運営に苦勞している」との調査報告があるが本市の現状を伺う。

**A** 福祉部長 本市においても、住民やボランティア等担い手の確保が難しく、運営上苦勞やサービスの低下が懸念されている状況です。高齢者が安心して生活していくために、きめ細かいサービスを提供できるよう、ボランティア養成講座等を通して事業の担い手の育成、確保に努める。

**【そのほかの質問】**  
**○** 第7期介護保険事業計画・高齢者福祉計画について

**○** 国民健康保険について（本市の国保財政について・制度改革の概要について）



▲拡張された小美玉市美野里霊園



デマンドタクシーの導入を提案、市の考えを伺う

公共交通を全体的に検討を行っていく

石井 旭

- Q** 地域循環バスですが、スタート当時から時刻や路線について苦情があり、満足した市内循環バスのカバーになっていない状況です。近隣の市は、デマンドタクシーの運行をしている。本市においての導入を提案する。市の考えを伺う。
- A** 企画財政部長 現在運行中の市内循環バスや地域循環バスのルート変更に加え、デマンドタクシーの運行も含めて、全体的に検討を行っていく。
- Q** 茨城国体・全国障害者スポーツ大会に、向けた運営のボランティア活動に、中高生などが参加出来るように取り組んで頂きたい。また、空港や空港線などをフラワーロードとして『花いっぱい運動』を行ってほしいと思うが、市の考えを伺う。
- A** 教育部長 数十年に1度の国体に関わる絶好の機会、スポーツ関係者のみならず中高生のボランティア参加を検討したい。また、試行で、市内の小学校にマリーゴールドの苗、プランターを支給し花を育ててもらい会場となる玉里運動公園を装飾した。
- Q** がんは早期発見・早期対策が必要不可欠である。平成27年第4回茨城県定例会に議員提案による『茨城県がん検診を推進し、がんと向き合うための県民診療条例』が施行されたが、市として検診率のアップやがん患者支援対策をどのように考えているのか伺う。
- A** 保健衛生部長 個別受診の勧奨通知にQRコードを掲載し、24時間検診申し込みが可能な電子申請などを導入。県や、医療、保健、福祉など関係機関が互いに連携をし、包括的に支援できるように情報の提供と相談支援を実施していく。



小美玉市は時代の流れに遅れていませんか

新たな時代に対応できるまちづくりを進める

戸田 見成

- Q** 世界湖沼会議等、県並びに近隣自治体との関係について
- A** 市民生活部長 第17回世界湖沼会議は、茨城県で来年の10月15日から19日の開催が予定されており、県や関係自治体と連携し、霞ヶ浦沿岸自治体として、この世界湖沼会議に参画していく。
- Q** 人口減少に対する市の姿勢について
- A** 企画財政部長 第2次総合計画を中心にあらゆる施策を組み合せ、市として全力を挙げて取り組まなければ人口減少問題を食い止めることは難しいと考える。
- Q** 市長、時代が大きく変わっています。新しいリーダーを育てられては如何ですか。想像する力が必要ですか。
- A** 市長 「ひともの地域」が輝きはばたくダイヤモンドシティ〜見つける。みがく。光をあてる。〜を将来像に掲げるとともに、豊かな自然や歴史、文化など、恵まれた地域資源と、まちづくりの基礎となる人的資源を最大限生かしながら、市民参画と協働によるまちづくりを進め「住んでみたい、住んでよかった、これからも住み続けたい小美玉市」を目指し、その実現に向けて取り組んでいく。
- 【そのほかの質問】**
- 道路政策（H28・12・8付一般質問）について
  - 都市計画マスタープランについて
  - 諸政策について（IT・情報過密時代、民間企業との協力等）

※地域包括ケアシステムとは？・・・高齢者が住み慣れた地域で自立し、尊厳のある暮らしを可能な限り継続できるよう、医療・介護・介護予防・住まい・生活支援が一体的に提供されることを目指したもの。

## 4月からの国保税は値上げにならないよう願う

### 急激な税負担とならないよう努める

福島ヤヨヒ



**Q 6月議会では急激な税負担にならないよう配慮するとの答弁だが改めて、4月からの国保税について、試算はどうなっているか。子育て世帯の子どもへの均等割りを軽減することはできないか。国保税滞納世帯も命を守る観点から6か月の短期保険証発行はできないか。生活困窮で国保税が払えない場合、国税徴収法の要件により税未納者に対し徴収法153条に照らし執行停止の措置は行われているか何う。**

**A 保健衛生部長** 急激な税負担とならないよう税率を検討する。18歳未満の子どもの均等割り子育て支援として全国知事会からも国へ要望しており、動向を注視したい。短期保険証の有効期限は4か月、1か月としており、きめ細やかな納税相談をして収納率の向上に

努める。生活保護を受けた場合や現況確認、財産調査の上執行停止の要件に該当すると判断した場合は停止している。

**Q 公立幼稚園の教育環境において、地域間格差の無い配慮を。**

**A 教育部長** 地域間格差の無いよう美野里地区の幼稚園の預かり保育も保護者の声を聴きながら公立幼稚園としての在り方として検討する。

**Q 小美玉市医療センターの今後についてどう検討されているか。**

**A 保健衛生部長** 医療センター経営改革提案選考委員会を設置し病院存続を第一に慎重に進めている。それぞれの役割分担を考え行政としてどう対応するか検討を重ねていく。

## 地域包括支援センターへのニーズは高まる

### 相談窓口の充実、介護予防ケアマネジメントを強化

谷仲和雄



**Q 平成30年度からの3カ年を計画期間とする小美玉市高齢者福祉計画・第7期介護保険事業計画について、第6期計画との相違点や基本的な考え方、地域包括支援センターの機能強化について問う。**

でも、第6期計画を継承・発展させていくことから「好きだから このまちでずっと過ごすために」地域で支えるまちづくりをめざして」を基本理念とする。

**A 福祉部長** 地域包括ケアシステムの構築から更なる深化・推進を目指す。第7期計画は、第6期計画の内容に加え、「自立支援、介護予防・重度化防止の推進」、「介護給付等対象サービスの充実・強化」、「在宅医療の充実及び在宅医療・介護連携を図るための体制の整備」、「日常生活を支援する体制の整備」について重点的に取り組むこととなる。

また、介護予防・日常生活支援総合事業の本格稼働に向けた取り組みを行っている。

地域包括ケアシステムの深化・推進において、地域ごとの支援のあり方、地域という視点が一層重要となる。本計画におい



▲福祉事務所（玉里総合支所）の地域包括支援センターの窓口

#### 【そのほかの質問】

○平成30年度予算編成方針について  
○投票率について

## 羽鳥駅周辺整備事業の今後の動きは

### サウンディング型市場調査を実施

村田 春樹



※地域包括支援センターとは？・・・主任ケアマネジャー・保健師・社会福祉士を配置して、医療・福祉・介護などの多様なニーズに対してワンストップの支援を行う機関として、総合相談支援を行うとともに、地域ケア会議をはじめ、地域の様々な立場にいる関係者間のネットワーク形成を推進している。

**Q 災害時におけるペットの救護対策について。**

**A 危機管理監** あらかじめペットとともに避難できる避難所の設置の検討や小美玉市獣医師会との災害時の応援協定の締結を含めた協力関係の構築に努める。

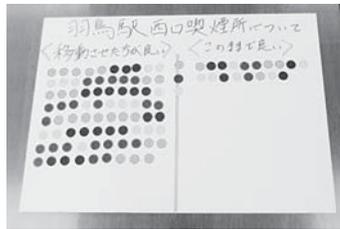
**Q 身体障害者補助犬に対する災害時の配慮は。**

**A 危機管理監** 身体障害者補助犬法は、身体障害者の自立と社会参加に資するものであり、公共施設などで補助犬の同伴の受け入れを義務づけるものであることから、対応策の検討を進めていく。

**Q 羽鳥駅周辺整備事業の進捗状況について。**

**A 都市建設部長** 市有地の利活用の検討に当たり、民間事業者との対話を通じて市有地の市場性をより正確に把握するため、今回サウンディング型市場調査を実施したいと考えている。

**Q 羽鳥駅西口喫煙所について。**



▲羽鳥駅喫煙所のアンケート結果

**A 都市建設部長** 現在設置されている2つの灰皿を一つに減らし、駅利用者の導線にかからない場所へ直ちに移設する。

## 第2次総合計画の策定と今後の市政運営について

### 効率的で柔軟な行政運営を進める

藤井 敏生



**Q 統合小学校のスクールバス利用料の無償化は第2次総合計画等にも盛り込んである基本施策である「子育て支援・充実」に大きく寄与できるものと思うが市の考えを伺う。**

**A 教育長** 統合準備委員会では、徒歩を基本とし、教育活動に支障のないよう通学距離が概ね3km以上の行政区、または3km未満であっても通学の安全が確保できない場合などについては、スクーバスでの通学支援を行うと決定している。

統廃合に伴う通学支援としてのスクールバスは、何としても無償で考えている。

今後は、無償に伴う財源の確保、統合準備委員会の協議を重ね、よりよい教育環境の実現に努力していく。

**Q 第1次総合計画の総括と今後10年間の小美玉市の羅針盤となる第2次総合計画の策定による市政運営について伺う。**

**A 市長** 第1次総合計画期間は、さまざまな小美玉市の礎を築き上げた期間で、将来像として掲げた「人が輝く水と緑の交流都市」の実現に向け、政策を着実に展開してきたものと自負をしている。第2次総合計画では、さらなる人・物・地域資源を見つけ、磨き、輝かせるため、より戦略的な計画・立案、効率的でさらに柔軟に行政運営を進めるとともに、今後の社会情勢を的確に捉え、新たな時代に対応できるまちづくりを進めていかなくてはならないと考えている。

## 防災会議の女性委員登用について

少しずつにはなるが、増やすよう努める

植木 弘子



**Q** 平成29年実施の防災訓練における成果と課題について。

**A** 危機管理監 市民・協力団体・関係機関のご協力を頂き、約800名の参加が見られた。今後、総合型か市民参加型の訓練を隔年で行うなど検討を行うとともに、会場の選定、区長会をはじめとした関係団体・協力機関のご意見を伺いながら、次年度以降について検討していく。

**Q** 防災会議の女性委員登用について。

**A** 危機管理監 防災会議は災害対策の根幹をなすべきものであることから、女性の視点、更には、女性ならではの災害に対するご意見やご提案が求められている。少しずつにはなると思うが、女性委員を増やすよう努めていく。

**Q** 児童虐待の現状と対策について。

**A** 福祉部長 家庭における適正な児童養育とその他家庭児童福祉の向上を図るため、子ども福祉課内に設置している家庭児童相談室への相談等は、合併当初と比べて増加傾向にある。対応については、各機関によって提供できる支援について限界があるため、必要に応じて「個別検討会議」を開催し、関係機関などと連携し対応している。

**【そのほかの質問】**

**Q** 乳児家庭戸別訪問事業の実施状況について問う

**Q** 子育て世代包括支援センターの設置について見解を伺う

**Q** 公園事業について、子育て支援施設における公園の位置付けとしても、利用する人の立場に立った公園整備を求めます。

## 地域注目度1位がバラエティー番組に出たが

市長のトップセールスで若い世代を取り込む

鈴木 俊一



**Q** ①小美玉市美野里地域食材供給施設条例では、転貸してはならないとあるが、運営を委託していることは転貸にあたらぬのか。②委託する際の委託料の算定方法は。③運営を委託した際の契約書等はあるか。④キャトルセゾンには外食産業という認識か。

**A** 産業経済部長 ①運営協力はありますが、みのりの森で運営しているので、条例に違反していない。②みのりの森の利益剰余金のマイナス分を十年で解消するという算定をした。③運営委託ではなく協力なので、委託契約はない。④外食産業と認識している。

**Q** そ・ら・ら運営協議会の人員は。

**A** 産業経済部長 駅長、JA新ひたち野、小美玉ふるさと食品公社、小美玉観光協会、坂東太郎、産業経済部長、そららの職員の7名です。

**Q** 空の駅周辺の農業振興地域整備計画については。

**A** 産業経済部長 空の駅周辺は農用地区域に指定されている。

**Q** 平成30年度の小美玉市内小学校の英語教育は。

**A** 教育長 5・6年生は年間50時間、3・4年生は15時間を実施する。

**Q** 地域注目度ランキングで1位になっている要因は。

**A** 産業経済部長 茨城お土産大賞を受賞したことと、小美玉の見所をSNSに発信したことにあります。

**Q** テレビで、地域注目度ランキングで1位になるために指示していないとのことだが、そうなるために、付度はなかったか。

**A** 市長公室長 指示した覚えはありませんし、職員はやっていないと思う。



小美玉市ならではの夢のある農業基盤の確立を

新たな取り組みを検討する

幡谷好文

**Q 農業行政について 農業の現状と課題について**

**A 産業経済部長** 平成27年の農業産出額は、354億で県内において鉦田市に次いで2位、鶏卵は全国1位、生乳は茨城県1位となっているが、高齢化と担い手の確保と育成が課題となっている。

**Q 農業振興の施策目標について**

**A 産業経済部長** エコファーマー認定者数、特別栽培農産物認証者数については目標値に達しなかったが、認定農業者数については目標数270人を超え303人の認定者数となった。

補助事業や融資などがある条件で営農を展開できるなどのメリットが要因と思われる。

**Q 農業という職業の教育と自治体主導の販路拡大について**

**A 産業経済部長** 認定農業者協議会を通して、学校給食に市内農産物を提供し、生産者のこだわりなどを給食だよりで紹介するなど努めている。

新たな取り組みについても検討する。

販路拡大については多様な取引形態に対応できるように農業者への情報提供や、実需者とのマッチング等を進めていく。



▲鶏卵は全国1位

**【そのほかの質問】**

**○教育行政について** 学校のいじめ問題、本市の現状について多様化するいじめ問題の今後の課題と対策について

平成30年度開催予定のヨーグルトサミットの内容は

全国94自治体に呼びかけ、10月20・21日開催

小川賢治

**Q ヨーグルトサミットについて 平成30年度開催予定の具体的内容は。**

**A 企画財政部長** 「第1回全国ヨーグルトサミット inおみたま」は平成30年10月20日(土)・21日(日)の2日間で開催。会場は「四季文化館みのりれ」を中心とした「四季の里」全体。サミットはビジネスサミットとイベントサミットの2本立てで開催する。ビジネスサミットは先進自治体、企業の事例発表等、イベントサミットでは全国のご当地ヨーグルトを集めた試食会、展示即売会などを企画している。

**Q 広域幹線道路整備事業について** ①羽鳥宿張星線東ルート ②〃西ルート ③〃北ルート ④栗又四ヶ線 ⑤常陸平野空港線についての整備進捗状況は。

**A 都市建設部長** ①180m区間が未整備だったが、地権者の協力を得、10月工事発注、完了により全線開通する。

②全体延長600mのうち340m工事完了、残り260m用地交渉にあたっている。③未着工は張星地内160m区間と江戸地内の320mで、平成31年度完成を目標に進める。④国道355までの2.8kmのうち1140mの工事に着手、一部未買収地について積極的に用地交渉に努めている。⑤石岡小美玉スマートICアクセス道路9.6kmの用地買収は、9割以上の契約を締結、用地買収が完了した箇所においては、全線道路改良工事を実施している。



▲岩間ICにつながる道路の整備が進む(羽鳥宿張星線北ルート)

**【そのほかの質問】**

**○企業誘致の推進について** 観光の振興について

先進地に学ぶ

研修視察の報告

総務・地方創生まちづくり委員会

◆視察日：10月11日～12日

◆委員：

野村武勝、荒川一秀、大和田智弘  
関口輝門、小川賢治、福島ヤヨヒ  
岩本好夫、谷仲和雄、幡谷好文  
木村喜一、鈴木俊一、村田春樹

◆視察先・内容：

①「(株) まちづくり青梅の取り組み」について  
(東京都青梅市)

青梅市では、まちのマネジメントを推進していく組織として民間事業者のノウハウを活用した「(株) まちづくり青梅」を設立し、雇用創出、市街地活性化を図るなど特色ある施策を展開しており、その取り組みについて研修しました。



▲(株) まちづくり青梅について説明を受ける

②「都市交流事業」について  
(群馬県川場村)

人口減少に少しでも歯止めをかけるためには、都会から小美玉市へ新しい流れをつくり、当市の魅力を全国に広めるなど、交流人口や当市への移住促進施策を充実させる必要があります。川場村では都市交流事業の取り組みなどの交流人口増加施策を研修しました。

文教福祉・地域医療対策委員会

◆視察日：10月26日～27日

◆委員：

小川賢治、藤井敏生、岩本好夫  
谷仲和雄、幡谷好文、植木弘子  
木村喜一

◆視察先・内容：

①「志木市立市民病院の取組み(市民病院の民間への移譲)」について  
(埼玉県志木市)

小美玉市では、市議会の提言を踏まえて、民間移譲による小美玉市医療センターの経営改革を目的とした小美玉市病院事業経営改革プラン(新公立病院改革プラン)を策定した。

小美玉市医療センターの経営改革を進めるにあたり、民間移譲による経営改革の先進事例である志木市立市民病院の民間移譲に向けた取り組みについて研修しました。

②「コミュニティ・スクールを基盤とした小・中一貫教育」について  
(東京都三鷹市)



▲説明を受ける委員(三鷹市役所)

小中一貫教育の核として、市内全域でコミュニティ・スクールを導入している三鷹市のコミュニティ・スクールの基盤とした小・中一貫教育の取り組みについて研修しました。

広報委員会

◆視察日：11月14日

◆委員：

市村文男、大槻良明、小川賢治  
谷仲和雄、幡谷好文、石井 旭  
植木弘子、村田春樹

◆視察先・内容：

「議会だより」について  
(東京都あきる野市)

議会だよりについて多くの市議会から視察を受け入れ、委員自らが取材や記事の作成から広報紙の編集・発行までを手がけているあきる野市議会を訪問しました。当日は編集に携わっている委員の方々から具体的な編集の流れや苦労など貴重な生の声を聞くことが出来、今後の魅力ある広報紙づくりに役立つ研修となりました。



▲あきる野市議会広報委員の説明を受ける

## 第46回プレゼントクイズ

\*答えは議会広報第48号の中にあります。

問題は3つです。答えを書いて、下記の応募方法によりお送りください。正解した方の中から抽選で10名の方に、「キャトル・セゾン」(四季の里内)のお食事券1,000円分をプレゼントします。たくさんのご応募をお待ちしています。

問① 12月定例会で一般質問を行った議員は〇〇名？

問② 今定例会で終了したのは「地域医療対策特別委員会」と「議会〇〇推進特別委員会」？

問③ 表紙の写真は「第11回小美玉市〇〇〇議会」？

### ◇応募方法

はがき・FAX・Eメールにて、住所・氏名・クイズの答えを明記してご応募ください。  
また、議会や本紙に対するご意見やご感想を併せてお寄せください。

### ◇応募〆切

平成30年2月23日(金)まで \*当日消印有効

### ◇応募先

〒319-0192 小美玉市堅倉835 “小美玉市役所 議会事務局”宛

FAX: 0299-48-1199 Eメール: gikai@city.omitama.lg.jp

☆応募に関する個人情報は、プレゼントの送付以外には利用いたしません。

## 第45回クイズの当選者

29通のご応募をいただきました。  
当選者は以下の方々です。

田村 匡弥さん	青木 智美さん
鬼澤 チヨさん	島田由貴子さん
千葉 和子さん	石田 悦子さん
石田いち子さん	太田 昌宏さん
笹島 憲一さん	東ヶ崎悦代さん

## 第45回クイズの正解

問① 平成28年度一般会計の歳出決算額は  
〇〇〇億8,445万2千円？ [答→233億]

問② 9月定例会で審議した議案は全〇〇件？  
[答→31件]

問③ 次の定例会の開会予定は〇〇月30日？  
[答→11月]

## 皆さんから寄せられた声です

~クイズ応募者、傍聴者の方から寄せられた声を掲載しています~

- ▶ 市内のスポーツ施設の「いばらき公共施設予約システム」登録を進めていただければと思います。現在は近隣の市の施設を利用しています。市内の施設が利用できるとありがたいです。(羽鳥・女性)
- ▶ いつも楽しみに市議会だよりを読んでいます。エクスプレス延伸実現を期待しております。(高崎・女性)
- ▶ 小美玉市議会だよりは、小美玉市としてどういう事が計画されているか、どういう問題が起きているか等を理解するのに唯一の広報紙です。市民の気持ちを考慮した広報紙作りに期待しています。  
(小川・女性)
- ▶ いつも市議会だより楽しみに読んでおります。第47号表紙の霞ヶ浦湖岸に咲くコスモスと筑波山の風景がとてもステキで気持ちがいやされます。発行責任者大変ご苦労様です。次号楽しみにしております。  
(高崎・女性)
- ▶ 地域特産品ブランド化推進事業で「福来みかんヨーグルト」が開発され、茨城のおみやげ大賞2016で最高金賞を受賞したことを初めて知った。食べてみようと思う。(羽鳥・女性)
- ▶ 私は毎年検診には、水戸メディカルセンターを利用し、市に申請してかなりの費用補助を頂いております。これが大変に有難く安心して受けられ大変感謝しております。これが市の予算から出てるんだなど改めて市財政を見直してしまいます。(佐才・女性)

ご意見・ご感想をお待ちしています

## ■ 議長通信 ■

### ● 11月6日：第3回TX延伸に関する検討会議

参加7市（つくば市・土浦市・かすみがうら市・石岡市・小美玉市・行方市・鉾田市）の正副議長が、土浦市議会に集まり、TXの茨城空港への延伸についての期成同盟会を平成30年度に設立することを検討しました。今回は、設立趣意書、規約、会の名称などの案について検討しました。次回は、2月に開催することとして閉会しました。



▲検討会議であいさつをする議長  
(左：藤井副議長・右：市村議長)

### ● 11月29日：安全確保を防衛省へ要望 30日：百里基地へ要望

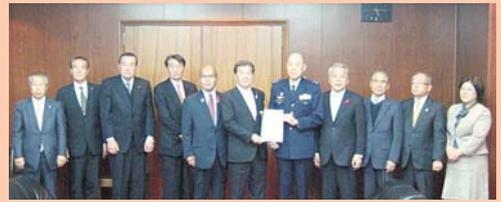
基地周辺の5市町（かすみがうら市・茨城町・行方市・鉾田市・小美玉市）の首長と議長が、防衛省本省へ要望しました。



▲防衛省にて要望  
(左から4番目：市村議長・右から5番目：島田市長)

過日10月18日に百里基地内で発生した百里基地所属F-4EJの火災に関し、安全飛行の確保・点検整備の強化をすること。10月29日に中止にはなりませんが航空観閲式におけるアメリカ海兵隊オスプレイとアメリカ空軍B1・B2戦略爆撃機の祝賀飛行について事前通告がなかったことをうけて、飛行情報がある場合のすみやかな連絡体制の強化を要望しました。

また、翌日には同じく周辺5市町の首長と議長において百里基地司令本部へ要望しました。



▲百里基地にて要望  
(中央左：市村議長・中央右：島田市長)

これを機に百里基地における問題等に関し、行政と議会が相互の連絡体制を密にして問題の解消を図ることを目的に首長と議会議長による「百里基地周辺5市町連絡会」を議会の提案により本年1月11日に発足しました。

## ■ 次の定例会は、3月2日(金) 開会予定です！

定例会 日程	会議等の主な内容	傍聴	
		可否	モニター 中継
3月2日 (金)	本会議 (開会、議案説明)	可	有
7日 (水)	本会議(～9日) (一般質問、議案質疑)	可	有
12日 (月)	予算特別委員会 (～14日)	要確認	無
15日 (木)	常任委員会 (～19日)	要確認	無
23日 (金)	本会議 (報告、採決、閉会)	可	有

\*委員会等の詳しい日程については、3月1日に開催する議会運営委員会で協議します。議会事務局までお問い合わせください。

## 編集後記

明けましておめでとうございます。2018年(平成30年)が素晴らしい天候のもとスタートしました。昨年は第3回目の小美玉市議会報告会が開催され市民の皆様との対話が出来、多くの要望、意見を聞くことが出来ました。

議会報告会を毎年開催することにより「開かれた議会」「市民の皆様にご頼まれる議会」が推進されております。平成30年10月20日(土)・21日(日)四季文化館のふれを中心として四季の里全体で『第1回全国ヨーグルトサミット in おみたま』が開催されます。ヨーグルトや牛乳、酪農業を全国へ広くPRし、また交流人口増加や移住、定住促進の契機づくりに成功を願っております。  
(小川賢治)

# 戌



発行編集責任者  
広報特別委員会

議長  
委員長  
副委員長  
委員

市村 文男  
大槻 良明  
谷仲 和雄  
小川 賢治  
幡谷 好文  
石井 好旭  
植木 弘子  
村田 春樹